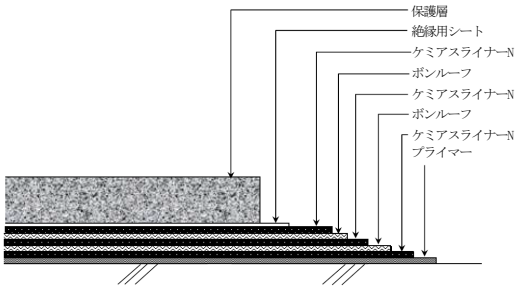
建設技術審査証明事業（建築技術）
審査技術概要シート

建設技術審査証明事業実施機関
一般財団法人日本建築センター
The Building Center of Japan

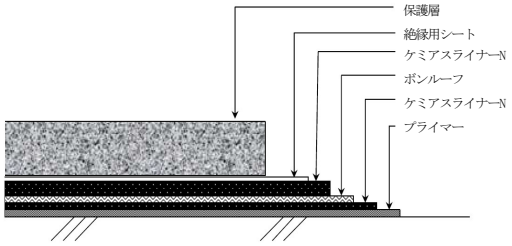
［審査証明番号／有効期限］	ＢＣＪ-審査証明-16／2028 年 9 月 25 日
［技術の名称］	改質アスファルト防水常温工法「ケミアスルーフ防水」
［依頼者（審査証明取得者）］	株式会社　エイ・アール・センター

［技術概要］

本工法は、常温反応硬化型ポリマー改質アスファルトと、アスファルトを含浸させた合成繊維（ポリエステル）不織布補強層とを常温で張り合わせて形成する防水工法である。



ケミアスルーフ防水　NCA-501 工法



ケミアスルーフ防水　NCA-601 工法

［開発の趣旨］

既存のアスファルト防水は溶融アスファルトにより、ルーフィングを積層して防水層を形成する工法であり、この工法には以下の問題点がある。

(1) アスファルトを作業現場で加熱溶融して取り扱うため、火災・火傷・臭気・煙等の安全・衛生・環境上の問題がある。

(2) 使用材料の物性により、使用量を多くすることが必要であり、従って積層数が多くなり、防水層の重量が大となる。

そこで本工法は、特殊な改質アスファルトを使用することにより、常温施工を可能とし、工数の削減及び品質向上により軽量化を図ることを目的として開発を行ったものである。

［開発目標及び審査証明結果］

本技術について、前記の開発の趣旨及び開発の目標に照らして審査された結果は、以下のとおりである。

(1) アスファルト物性の改善と、それに適したルーフィングの組合せにより、次の特長を有する防水層が開発されたものと判断される。

①在来工法によるアスファルト防水と同等の防水性能を有する。

②火気を使用せず、常温で施工可能な防水層とする。

③防水層の重量を軽減する。

(2) 施工時に火気を使用しないことにより、燃料を使用せず、大気汚染への影響が軽減されるものと判断される。

［本技術の問い合わせ先］

株式会社　エイ・アール・センター
本社営業部　　TEL　06-6229-8177

株式会社　エイ・アール・センター　ＨＰ
http://www.ar-center.co.jp

本概要シートは、土木・建築関係団体により設立された「建設技術審査証明協議会」の会員として、一般財団法人 日本建築センター（BCJ）が実施した「建設技術審査証明事業（建築技術）」の結果を広く紹介する目的で作成したものです。